

ふくおか & MAFF

2022.10

Vol.40

2022年10月14日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 農業委員会で活躍する女性をご紹介します！（嘉麻市）
- ➔ 有機学校給食の実現を目指して～北九州オーガニックプロジェクトの取り組み～
- ➔ しめよう！シートベルト ～秋の農作業安全確認運動実施中～

農業委員会で活躍する女性をご紹介します！（嘉麻市）

嘉麻市農業委員会は、今年4月の改選で、女性農業委員が1名増の合計3名となり、その割合は20%となりました。自ら道を切り開き、積極的に活動する女性農業委員の皆様と事務局長松尾典子様と意見交換を行いましたので、ご紹介します！

〽️お話を伺いました！



委員
山田 恵子氏

現在2期目。中立委員。嘉麻市女性人材バンクからの紹介で立候補。栄養教諭の経験を活かす。

中立委員でも肩身の狭い思いをすることなく発言。発言しやすい雰囲気づくりを心がけています。（山田氏）

女性を増員しないと男性社会である農業委員の意識は変わらないという想いで活動しています！（縄田氏）



副会長
縄田 緑氏

現在2期目。JAを退職後、営農開始（水稲）。

なかなか意見を出しにくい女性たちが、持続可能な農業をめざすために、主体的に考えて行動できるようになることを願っています。学習会の開催等、環境づくりを続けていきたいです！（縄田氏）

女性の立場から意見を出して、地域の農業発展につなげます。（中村氏）



委員
中村 由美氏

現在1期目。農業者（水稲）。JAふくおか嘉穂の理事も務める。

一 女性委員増員のために取り組んだことは？

改選の1年前から、毎月の総会后に女性委員の増員について男性委員に話したり、女性農業者に直接声を掛けたりしました。否定的な意見もありましたが、自分たちが行動している姿を見せていかなければ、男性委員に認めてもらえず、未来につながらないと考え、積極的に行動したことで、段々雰囲気が変わったように思います。

一 総会が活性化！

委員に就任した当初、総会ではほとんど議論が交わされておらず、総会では必ず何か発言するように決めました。例えば、研修会等の報告をするようにしたところ定例化。以前よりも男性委員もざっくばらんに発言する雰囲気になったと思います。

一 さらなる増員に向けて

今後、地域からの選出を目指し、今まで以上に女性が力をつける必要性を感じています。そのため、毎月開催される総会の後、事務局と女性委員で打ち合わせを行い、方策を話しています。また、女性たちの共通認識の場作りや協働を目指し、昨年11月に「かま男女共同参画推進ネットワーク」の「農業部会」を立ち上げ、今年7月に女性農業者向けの学習会を開催しました。



学習会の様子。女性農業者17名が参加し、意見交換では、悩みや困っていること等の話で交流が生まれ、好評でした！

次ページにつづく →

一 事務局としてできることは？ 事務局長松尾典子氏より

★ 農業委員会事務局に配属された当初は、男性の話しか聞いてもらえない雰囲気、とにかく制度を勉強し、説明し聞いてもらう力をつけました。その経験もあり、女性委員の増員のためには、まずは農業の様々な制度を学び、女性ならではのコミュニケーション力で男性を巻き込みながら、次世代の女性委員候補者を育てていくことが必要であると考え、次期改選にむけて女性委員と共に方策を考えていきたいと思っています。



意見交換、ありがとうございました！

意見交換の様子。左奥から事務局長松尾様、委員中村様、委員山田様、副会長縄田様。

有機学校給食の実現を目指して
～北九州オーガニックプロジェクトの取組み～

子どもたちのため、自然と調和した豊かな暮らしをこれからも育めるよう、昨年4月に始動し、食と農の未来会議としてフレキシブルに活動する市民発の協議会メンバーの皆様と意見交換を行いましたのでご紹介します！

一 どんな活動をしていますか？

有機農産物のマルシェ、講演会等の様々なイベントを開催しています。また、学校給食についてのWEBアンケートも実施したほか、**地元の有機農産物を使用した「有機学校給食の日」を提案し、自治体に働きかけを行っています。**

一 メンバーは？

賛同者は、現在約150名です。子育て中の女性の方が多くを占め、個人事業者、生産者、学生も参加しています。コアなメンバーは約10名で、SNSやHP等で情報発信し徐々に活動や賛同者が広がりました。

「ゲノム編集」や「RNA農薬」等の技術について、情報が不足すると不安に思う。引き続き、分かりやすい情報発信と議論の透明性の確保をお願いしたい！



意見交換の様子。左から片山様、橋本様、進藤様、森河原様。「みどりの食料システム戦略」の「環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進」や新しい技術と食品の安全性について、意見交換を行いました。



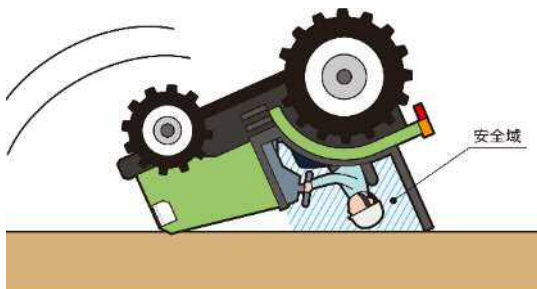
▼北九州オーガニックプロジェクト
<https://kita9organic.wixsite.com/home>

意見交換、ありがとうございました！

しめよう！シートベルト ～秋の農作業安全確認運動実施中～

乗用型トラクターの転落・転倒で多くの方が亡くなっています。転落・転倒時に、安全キャブ・フレームの安全域にとどまるためには、**シートベルトの着用が必要です。**

安全フレームを立てて、シートベルト着用を徹底！！



▶詳細はこちら https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/ (出典) 統計データ等を用いて農林水産省が整理

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

